

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|-----------------------------|--------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2025年度 | 開講期(Semester) | 後期 |
| 授業科目名(Course name) | 国語科教育法 | | |
| 担当者(Instructors) | 山本 かほる | 配当年次(Dividend year) | 2 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 選択 |
| 実務家教員科目(Pro teacher course) | | | |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は、小学校新学習指導要領「国語」の目標・内容（【知識及び技能】と【思考力、判断力、表現力等】）のねらいに基づき、児童の言語能力を培うために、学習指導案の作成方法の理解及び作成を通して実践的な指導方法を修得することを目的とする。また、小学校新学習指導要領「国語」の内容における「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」の特性を理解し、その授業展開を行う上での実践的指導方法を修得し、国語科における目標と評価の一体化及びその関係性について検討していく。学生自身が教材開発し、模擬授業に取り組み、その成果を相互にディスカッションすることで、切磋琢磨して共に学び合う環境を設定し力量を高めていく。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---|--|
| 授業形態(Class form) | 演習 |
| 授業の方法(Class method) | 国語科教材研究の概念や具体的な方法について、実際の教材を分析しながら学ぶ。また、国語科指導案の形式や用語、各項目の意味について理解し、指導案の作成方法を学ぶ。さらに作成した略案や細案をもとにした模擬授業の教師役を全員が体験し、事後検討のディスカッションを行って国語科の授業実践力を身につける。小学校学習指導要領「国語」は授業資料として配布する。 |
| 当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice) | 小学校ではほぼ毎日国語の授業があります。私も現場で担任として国語の授業をする中で、国語の授業の楽しさ、難しさを常感じてきました。教育実習で、さらに新任教員として教壇に立った時、みなさんが国語科の指導案を悩まずに作成できるよう、そして子どもたちの立場に立った楽しい授業、ことばの力を着実に伸ばす授業ができるよう、模擬授業やグループディスカッションなどを通して実践的に学んでいきましょう。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|--|--|---------------|
| 第1回 | オリエンテーション 授業概要の説明。 | 授業の目的や概要、方法についての説明。学習指導要領「国語」を概観し、小学校国語科の全体像を把握する。 | □ |
| 第2回 | 新学習指導要領「国語」の「知識及び技能」における言語事項の取扱い、及び「思考力、判断力、表現力」における「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」についての講義。 | 「知識及び技能」における言語事項「言葉の働き」「漢字」「語彙」「書写」等、そして新たに加わった「情報の扱い方」の内容について学ぶ。また「思考力、判断力、表現力」における「話す」「聞く」「読む」「書く」で身に付けさせたいことばの力の内容について学ぶ。 | □ |
| 第3回 | 学習指導要領「C読むこと」（文学的文章）の指導理論・教材研究・学習指導案作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義と学習指導案の作成。 【登場人物の心情変化や情景を、叙述と結び付けて読み取る】 | 学習指導要領「C読むこと」（文学的文章）の内容を踏まえ、文学教材の指導理論・教材研究・作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義と学習指導案の実作・検討を行う。 | □ |
| 第4回 | 学習指導要領「C読むこと」（文学的文章）の模擬授業と振り返り。 （学習プリント・パワーポイント・グループ討議を用いて実施） | 前時実作した指導案による文学教材の模擬授業を実践し、事後検討を行う。 | □ |
| 第5回 | 学習指導要領「C読むこと」（説明的文章）の指導理論・教材研究・学習指導案作成・学習評価・子どもの実態把握・指導上の留意点の方法についての講義と学習指導案の作成。【段落構成、接続語に着目して】 | 学習指導要領「C読むこと」（説明的文章）の内容を踏まえ、説明文教材の指導理論・教材研究・作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義と学習指導案の実作・検討を行う。 | □ |
| 第6回 | 学習指導要領「C読むこと」（説明的文章）の模擬授業と振り返り。（学習プリント・パワーポイント・グループ討議を用いて実施） | 前時実作した指導案による説明文教材の模擬授業を実践し、事後検討を行う。 | □ |

| | | | |
|------|--|--|---|
| 第7回 | 学習指導要領「B書くこと」（論理的文章）の指導理論・教材研究・学習指導案作成・学習評価・子どもの実態把握・指導上の留意点の方法についての講義と学習指導案の作成。 【「はじめ」「なか」「おわり」の3段落構成で】 | 学習指導要領「B書くこと」（論理的文章）の内容を踏まえ、論理的文章を書かせるための指導理論・教材研究・学習指導案作成・学習評価・子どもの実態把握・指導上の留意点の方法についての講義と学習指導案の実作・検討を行う。 | □ |
| 第8回 | 学習指導要領「B書くこと」（論理的文章）の模擬授業と振り返り。（学習プリント・パワーポイント・グループ討議を用いて実施） | 学習指導要領「B書くこと」（論理的文章）の模擬授業を実践し、事後検討を行う。 | □ |
| 第9回 | 学習指導要領「A話すこと・聞くこと」（話し合い）の指導理論・教材研究・学習指導案の作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義と学習指導案の作成。 【役割分担の決め方：話し合いを成立させるための条件：テーマの設定の仕方に着目して】 | 学習指導要領「A話すこと・聞くこと」の内容を踏まえ、「話し合い」の指導理論・教材研究・学習指導案の作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義と学習指導案の実作・検討を行う。 | □ |
| 第10回 | 学習指導要領「A話すこと・聞くこと」（話し合い）の模擬授業と振り返り。（学習プリント・パワーポイント・グループ討議を用いて実施） | 学習指導要領「A話すこと・聞くこと」（話し合い）の模擬授業を実践し、事後検討を行う。 | □ |
| 第11回 | 学習指導要領「書写」の指導理論・教材研究・学習指導案の作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義。【点画の長短：接し方：交わり方：筆順：形を整えて】 | 学習指導要領「書写」の内容を踏まえ、書写指導の指導理論・教材研究・学習指導案の作成・学習評価・子どもの実態把握の方法・指導上の留意点についての講義と学習指導案の実作・検討を行う。 | □ |
| 第12回 | 学習指導要領「書写」の模擬授業と振り返り。（学習プリント・パワーポイント・グループ協議を用いて実施） | 学習指導要領「書写」の模擬授業を実践し、事後検討を行う。 | □ |
| 第13回 | 「授業」の要素に関する講義と意見交流。①（ICT機器を活用した国語の授業。効果的な発問、板書 教材の活用法） | 国語科の授業におけるICT機器、発問、板書、教材の効果的な活用法についての講義と意見交流を行う。 | □ |
| 第14回 | 「授業」の要素に関する講義と意見交流。②（アクティブラーニングの導入の観点からの授業改善） | 国語科のアクティブラーニングの導入の観点からの授業改善について、講義と意見交流を行う。 | □ |
| 第15回 | これからの国語の授業とICTの活用 | 国語科教育の課題をまとめるとともに、デジタル教科書を使ってみて、ICTを活用したこれからの国語の授業のあり方を展望する。 | □ |

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に学習指導要領や教科書教材を読んで予習し（1時間程度）、授業後に講義記録や指導案の作成を行う（3時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回提出の授業記録や考察、指導案は添削し、コメントをつけて翌週返却。課題となった事柄や優秀な記録・指導案の内容は、次の授業の際にパワーポイントで共有し、フィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|--------------|-------------------|--|
| 知識・技能 | ◆ 2019子ども発達DP1 | ・小学校における国語科の学習指導を行うための基礎となる知識・理解・技能（書写を含む）を習得し、それを踏まえて指導案を作成できる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ◇ 2019子ども発達DP2 | ・小学校学習指導要領「国語」の「目標・内容」をふまえ、児童の言語能力を培うための実践的指導ができる。 ・教材研究のしかた、学習指導要領の内容や「本時の目標」をふまえた「本時のめあて」の提示のしかた、発問や板書のしかた、副教材（ワークシート フラッシュカード等）の作り方が分かり、授業者として具体的に実践できる。 |
| 主体性 | ◇ 2019子ども発達DP3 | ・模擬授業で扱う教材に興味をもち、学習活動や発問、教具・ワークシートの工夫を積極的に行うことができる。 ・児童の実態を想定して児童役として模擬授業に参加したり、授業の事後検討会で積極的に発言したりして、主体的に学ぼうとしている。 |

■成績評価(Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|---|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| | | | 100% | |
| 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) | | | | |
| 模擬授業 (30%) 学習指導案 (50%) 授業記録および模擬授業事後検討会記録 (20%) | | | | |

| ■テキスト(Textbooks) | | |
|------------------|--------------------|------------|
| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
| 1 | 小学校学習指導要領 (国語) を配付 | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

| ■参考図書(references books) | | |
|-------------------------|--------------------|------------|
| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |